



4,000円

# 実用新案登録願 (1)

昭和55年4月2日

特許庁長官殿

1. 考案の名称 <sup>フリガナ</sup> ハンディモップ

2. 考案者

<sup>フリガナ</sup>  
住所  
<sup>フリガナ</sup>  
氏名

<sup>トヨナカシヒガントヨナカハロウ</sup>  
大阪府豊中市東豊中町5の2  
チムケゾ  
千村慶三

3. 実用新案登録出願人 郵便番号 531

(ほか3名)

居 所  
名 称

<sup>オオヨドクトヨナカ</sup>  
大阪市大淀区豊崎4丁目11番16号  
ダスキンプランチャイズ株式会社

代表取締役 <sup>スズキ</sup> 鈴木 <sup>セイ</sup> 清 <sup>イチ</sup> 市  
(ほか1名)

4. 代理人 郵便番号 110

住 所 東京都台東区上野3丁目23番6号

氏 名 (1608) 辦理士 且 六郎 治  
(ほか1名)

電話 (834) 362100~6

5. 添附書類の目録

1 委 任 状  
2 明 細 書  
3 図 面  
4 願 書 副 本

2 通  
1 通  
1 通  
1 通

55 044599

方 式

馬

## 明 細 書

1. 考案の名称      ハンディモップ

### 2. 実用新案登録請求の範囲

前半部を挟持部とし、後半部をわん曲したグリップとした板 1 にモップを巻付け、このモップの両端に突出したループ状の係止紐 20 を柄の挟持部 2 の後端部に突設された突起に引掛けて固定するハンディモップにおいて、柄 1 の挟持部 2 の基端部の仕切板 5e の背面において、上側にわん曲したグリップ 3 の下側面に形成された溝の内壁を穿設して左右一対の蠟溝状の嵌合溝 7、7 を形成し、この嵌合溝中に係止部材 9 を嵌合させてなり、この係止部材 9 は上下一対の腕 11、12 を二股状に分れて有し、上側の腕 11 はその先端が下方に向つて屈曲して延び、その端面には前記嵌合溝 7、7 中に嵌合する突出部 13a、13a を左右に有する平坦な T 字状の嵌合部 13 を形成し、この嵌合部 13 の下方に寄つた位置には他方の腕 12 の方向に至るに従い高くなる傾斜した端面を有する短円柱状の突起 14 を形成し、下方

の腕12の先端には前配嵌合部13と同一平面をなす嵌合部15を形成し、この嵌合部15の両側には前配嵌合溝7、7中に嵌合する突出部15a, 15bを左右に突設し、上方の腕11の肩部には上方に向つて突出する舌片10を突設し、前配突起14は挟持部2の後端の仕切板5eを貫通して形成された透孔8中に嵌合させるように構成したことを特徴とするハンディモップ。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案はハンディモップに係り、特にモップの柄を合成樹脂等から一体的に成形し、多数の紐状の払拭片を有するモップを自由に着脱できるように構成したハンディモップに関するものである。

従来よりモップの柄を合成樹脂等から一体成形しこれに対してモップを着脱自在に取付け得るように構成した各種のハンディモップが知られている。

しかし、従来の中の種のモップにあつては、モップの後端にループ状に形成された紐状の引

掛部材をモップの柄の後端部に一体的に突設された突起に引掛けてモップ自身をずれないように係止する構造を採用していた。

このような構造を採用すると柄自身は突起と一体の材料で成形されるため、突起自身の強さは、柄自身を構成する材質の強さによつて決定されてしまい、長い間使用していると突起が破損したりしてモップを固定することができなくなる。

また、モップの柄と一体的に突起を形成しようとすると、成形する金型は複雑なものとなり、特殊な中子や、こみ入った構造を採用しなければならず製作コストが著しく増大する結果となった。

本考案は以上のような従来の欠点を除去するためになされたもので、モップに係止する突起を、強度の大きな材質から成形し、これをモップの柄に対して嵌合固定することができるよう構成し、モップの係止部分である突起の強度を著しく増大させたハンディモップを提供する

ものである。

1

以下、図面に示す実施例と共に本考案の詳細を説明する。

図において符号1で示すものは柄で、合成樹脂より一体的に成形され前半部はモップの挟持部2となり、後半部は握りやすく、使いやすいうように上方に向つてわん曲したグリップ3となっている。柄の前半部を形成する挟持部2は前方に向つて舌片状にのびかつ前記グリップ3の外側面を形成する曲面となだらかに連続する曲面の外周面を有し、その底面はフラットに形成されている蓋板4を有し、この蓋板4の下側には蓋板4の幅内の空間を占め、蓋板4より長さの短い左右一対の挟持片5、5が配置されている。挟持片5、5は蓋板4の下面とほぼ平行に配置されその基端はグリップ3と一体となっており両者間には細長いU字状の空間6が形成されている。各挟持片5の先端は円弧状の先端を有するテーパ面5aとなっており、後述するようモップを取付ける際にモップの先端を容易

20

に挿入することができるように配座されている。

また、左右一対の挟持片 5, 5 は第 6 図の断面図からも明らかなように断面がほぼ V 字状であり、その内側面は直立壁 5b となつているが底面から外側面に向つてわん曲した側壁 5c となつて

いる。また、両挟持片 5, 5 の基端部近傍の内側面には、前記直立壁 5b と一体に U 字状の空間 6 内に突出する円弧状の突出部 5d, 5d が対向して形成されている。

一方、グリップ 3 の外周面は前述したように曲面をなしているが、その下側面には軸線方向に沿つてわん曲して連続する溝 3a が形成されている。そして、この溝 3a は左右一対の挟持片 5, 5 の基端にまで連続しており、左右一対の挟持片 5, 5 の基端を一体化させている仕切板 5e を残して終端している。

そして、この仕切板 5e の裏面に接した状態で前記溝 3a の終端部の両側を穿設して垂直方向に左右一対の蟻溝状の嵌合溝 7, 7 が形成されて

いる。そして、左右の嵌合溝 7, 7 の中央部に位置した状態で仕切板 5a には第 6 図に明らかな様にほぼ半円形の透孔 8 が形成されている。この透孔 8 の円弧状の上縁は第 6 図に示すように蓋板 4 の底面にほぼ接した状態で配置されている。

前記嵌合溝 7, 7 中には係止部材 9 が嵌合される。

この係止部材 9 はモップの端部を係止する突起となるもので第 7 図に示すような構造を有する。すなわち、係止部材 9 は第 7 図に示すようにその一端に上側に向つて突設された舌片 10 を有し、この舌片 10 は上下に二股状に延びる 2 本の腕 11, 12 と一体的に形成されている。

上側の腕 11 は下方の腕 12 側に向つて屈曲して形成されており、その先端には腕 11 とほぼ直交した状態でほぼ T 字状をなす嵌合部 13 が形成されている。この嵌合部 13 の上方の両端に突設された突出部 13a, 13a は前記嵌合溝 7 の溝間の幅とほぼ等しく、腕 11 の肉厚及び舌片 10, 腕 12 の幅

は前記グリップ 3 の溝 3a の幅よりもわずかに小さい。嵌合部 13 の先端部の幅は上側の腕 11 の肉厚とほぼ等しく、その外側面の下側の腕 12 に寄った位置には突起 14 が突設されている。この突起 14 は短円柱状に形成され第 9 図からも明らかなように下方の腕 12 側が高く反対側が低くなっている。この突起 14 は前記透孔 8 に嵌合されている。

一方、もう一つの腕、すなわち下方の腕 12 は腕 11 の嵌合部 13 と同一平面をなす位置にまでその先端がわん曲して延びており、その先端には嵌合部 13 と対抗した位置に嵌合部 13 の突出部 13a、13a 間の幅と同一の幅で突出する突出部 15a、15a が突設されている嵌合部 15 が形成されている。

係止部材 9 は以上のような構造とされているため、第 8 図及び第 9 図に示すように舌片 10 を上側にして嵌合部 13、15 の両端の突出部 13a、15a を前記嵌合溝 7、7 中に嵌合させ、腕 12 の外側から力を入れて押せば、上側の腕 11 の嵌合部 13 は突起 14 が仕切板 5e に押されて内側に向つて弾



性変形しつつ嵌合溝7，7中に導かれ、突起14が透孔8と対向する状態となると嵌合部13自身もつ弾力により復帰し、突起14の先端が透孔8中に嵌合し戻らなくなる。そして、係止部材9の舌片10は第9図に示すようにグリップ3の溝3aから外方に突出した突起となる。

このように係止部材9が一旦嵌合されてしまうと係止部材9ははずすことができず完全に固定される。

他方、モップは第3図に示すような構造をしている。

すなわち、第3図に示すように中央部の上下に比較的狭い幅の帯状の基布16が配置され、この基布16の両側に紐状の払拭片17がふり分けられるように基布16が2層に配置され、ミシン18を両側にかけることにより払拭片17が袋状部を形成して固定され、モップ19となる。基布16の両端にはループ状に形成された係止紐20が基布16と一体に縫い込まれている。

以上のように構成されたモップ19は払拭片17

を二つ折りにされ、係止紐 20 が係止部材 9 の方向にまわつてくるようにしてほぼ U 字状に折り曲げ、上下の基布 16 間の袋状部に挟持片 5、5 を挿入し、係止部材 9 の舌片 10 にループ状に形成された係止紐 20 は舌片 10 に引掛けられる。この状態が第 1 図及び第 2 図に示す状態である。この時、突出部 5d, 5d が存在するため、基布 16, 16 からなる袋状部は抜けにくい状態で挟持片 5, 5 に嵌合され、モップは蓋板 4 と挟持片 5 との間で挟持される。

以上の説明から明らかなように本考案によれば係止部材 9 は柄と別体として形成されているため、材質としても柄自身の材質より強い材質を利用して成形することができ、しかも柄に対してワンタッチで嵌合固定することができ複雑な金型を必要とせず、大きな外力が加わつても破損しない構造とすることができ、しかも低価格で提供することができるという優れた効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

図は本考案の一実施例を説明するもので、第1図は全体斜視図、第2図は縦断側面図、第3図は展開状態で示すモツブの平面図、第4図は柄の側面図、第5図は柄の底面図、第6図は第4図のA-A線断面図、第7図は係止部材の斜視図、第8図及び第9図は係止部材の取付状態を説明する要部拡大断面図である。

1…柄、2…挟持部、3…グリップ、4…蓋板、5…挟持片、7…嵌合溝、8…透孔、9…係止部材、10…舌片、11, 12…腕、13, 15…嵌合部、13a, 15a…突出部、14…突起、16…基部、17…払拭片、19…モツブ、20…係止片。

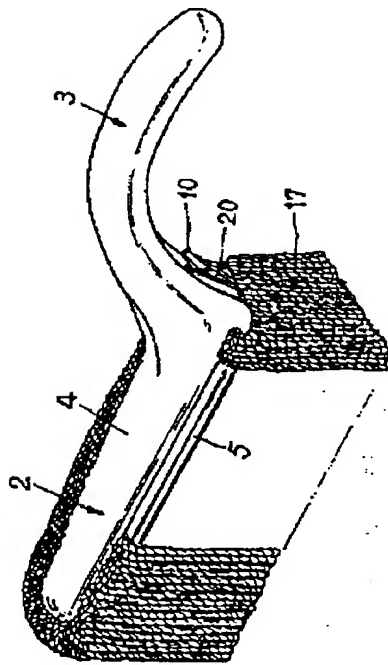
実用新案登録出願人    ダスキンプランチャイズ株式会社

同                    株式会社    サ   ン   バ   ッ   ク

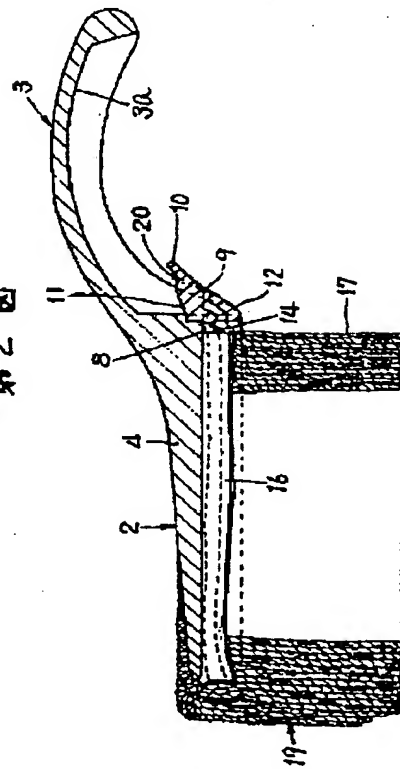
代                    理                    人                    且                    六                    郎                    治

同                    且                    範                    之

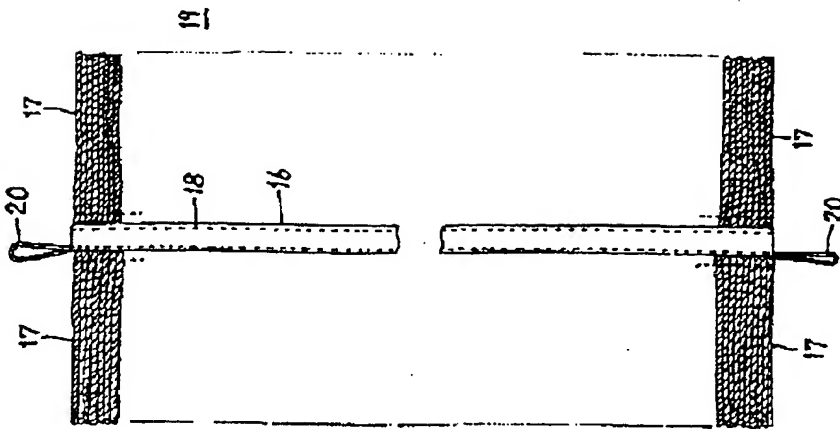
第1図



第2図

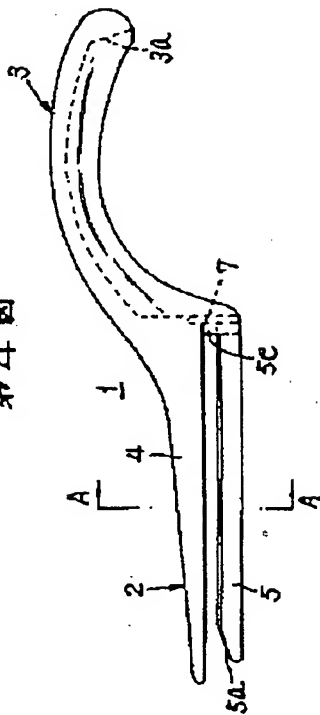


第3図

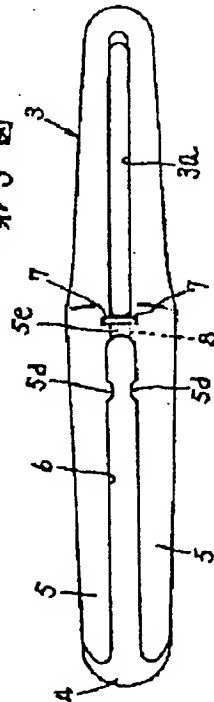


特許出願人 株式会社サンパック  
代理人 氏名 旦 旦 治 之  
同 同 同 同

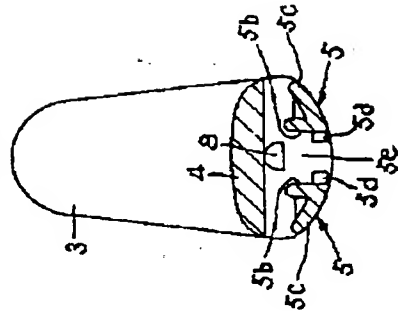
第4図



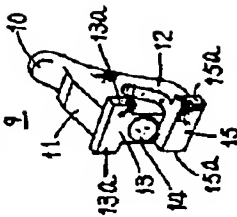
第5図



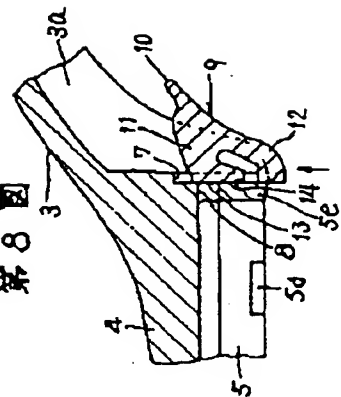
第6図



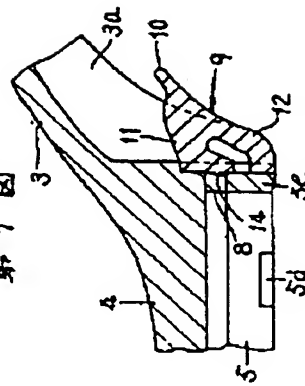
第7図



第8図



第9図



主

東京府足立区錦糸町の名称  
株式会社サンパツ  
代理人の氏名 旦 旦 治 之

△ 前記以外の考案者，実用新案登録出願人及び代理人

(1) 考 案 者

住 所	<small>ヒガシヨトガワクトネザトアヨウ</small> 大阪市東淀川区豊里町140番地の9
氏 名	<small>ニシ ヤマ マサ ノブ</small> 西 山 公 惟
住 所	<small>ネ ヤガワ シミトリマ</small> 大阪府寝屋川市緑町13の9
氏 名	<small>カナ ザワ フサ オ</small> 金 沢 房 雄
住 所	<small>トヨカシ エイラクソウ</small> 大阪府豊中市永楽荘2丁目18番6号
氏 名	<small>マツ モト ノリ ユキ</small> 松 本 典 之

(2) 実用新案登録出願人

郵便番号 532  
ミドリガワ タニシナカシマ  
 居 所 大阪市淀川区西中島5丁目9番2号  
 名 称 株式会社 サンパック  
 代表取締役 アオ ヤマ ケン スケ  
 青 山 健 祐

(3) 代 理 人

郵便番号 110  
 住 所 東京都台東区上野3丁目23番6号  
 氏 名 (6349) 弁理士 且 範 之

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**